

## 次期京都市基本計画策定のためのアンケート調査にご協力ください

平素から京都市政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

京都市では、新たな政策を総合的かつ戦略的に展開するために平成23年度から概ね10年間の市政運営の基本方針となる次期基本計画の策定に取り組んでおります。

この基本計画の策定に当たっては、京都市にお住まいの皆さんの様々なご意見やご提案を幅広くお聞きしたいと考えており、この度、将来の京都のまちや皆さんの暮らしなどに関するアンケート調査を実施することに致しました。

何かとご多忙のこととは存じますが、本調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願い致します。

なお、このアンケート調査は、京都市内にお住まいの18歳以上の方から、無作為に選んだ12,000人の皆さんに記入をお願いするものです。

今回お答えいただきました内容は、統計的に活用致しますので、ご迷惑をおかけすることは一切ございません。

京都市長 門川大作

### ご記入に当たって

- ・ アンケート調査をお願いしたご本人（封筒の宛先となっている方）がお答えください。外国人登録に通称名を登録されている方には、通称名を使用しましたのでご了承ください。
- ・ アンケート調査票、返信用封筒には、お名前やご住所を記入していただく必要はございません。
- ・ このアンケートは全部で18問あります。問12の副問及び問18以外は選択式となっていますので、当てはまる番号を選び、○印を指定の数だけつけてください。
- ・ 外国籍の方には、4種類の言語の調査票を同封しておりますが、設問内容は、すべて同じものです。ご都合の良いものを選んでお答えください。

この調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

京都市総合企画局政策推進室政策企画担当

電話 075-222-3035 FAX 075-212-2902

ホームページ <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/00000.html>

ご記入いただきましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて12月1日（月）までに投函をお願い致します。

**はじめに、あなたのお住まいについておたずねします。**

**問1** あなたは、今お住まいのところに将来もずっと住み続けたいと思われますか。次の項目の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選び番号に○印をつけてください。

- 1 住み続けたい
- 2 できれば住み続けたい
- 3 移りたい
- 4 できれば移りたい
- 5 わからない

**副問** 問1で「1 住み続けたい」又は「2 できれば住み続けたい」と答えられた方のみにおたずねします。それは、どのような理由からですか。次の項目の中から、当てはまるものを2つ以内で選び番号に○印をつけてください。

- 1 自然環境や広場・公園に恵まれているから
- 2 土地になじみや愛着があるから
- 3 隣近所の人々の気心が知れているから
- 4 現在の住宅に満足しているから
- 5 生活上便利なところだから(通勤, 通学, 買物, 医療など)
- 6 歴史・文化に恵まれているから
- 7 地震など自然災害の不安が少ないところだから
- 8 仕事の関係で都合がよいから
- 9 子育て・教育環境がよいから
- 10 その他( )

**副問** 問1で「3 移りたい」又は「4 できれば移りたい」と答えられた方のみにおたずねします。それは、どのような理由からですか。次の項目の中から、当てはまるものを2つ以内で選び番号に○印をつけてください。

- 1 自然環境や広場・公園に恵まれていないから
- 2 土地になじみや愛着がないから
- 3 隣近所の付き合いがむずかしいから
- 4 現在の住宅に不満があるから
- 5 生活上不便なところだから(通勤, 通学, 買物, 医療など)
- 6 歴史・文化に恵まれていないから
- 7 地震など自然災害の不安があるから
- 8 仕事の関係で都合がよくないから
- 9 子育て・教育環境がよくないから
- 10 その他( )

**副問** 問1で「3 移りたい」又は「4 できれば移りたい」と答えられた方のみにおたずねします。移転先をどのようにお考えですか。次の項目の中から、**あなたのお考えに近いものを1つ選び番号に○印をつけてください。**

- 1 京都市内で、都心部(上京, 中京, 下京, 東山区)に(で)移転したい
- 2 京都市内で、都心部以外に(で)移転したい
- 3 京都市内なら都心部, 都心部以外を問わない
- 4 京都市外に移転したい
- 5 移転先にはこだわらない

**次に、身近な生活環境についておたずねします。**

**問2** あなたの毎日の生活から見て、次の(ア)～(ト)の各項目について、どのように思いますか。それぞれ当てはまるものを**1つ選び番号に○印をつけてください。**

	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや 不満	不満
(ア) 住宅の日当たりや風通しのよさ	1	2	3	4	5
(イ) 住宅周辺の静かさ	1	2	3	4	5
(ウ) 住宅周辺のごみの散乱していない清潔な環境	1	2	3	4	5
(エ) 住宅周辺の緑, 花などの自然の豊かさ	1	2	3	4	5
(オ) 住宅周辺の公園, 広場や子どもの遊び場	1	2	3	4	5
(カ) 近所の町並みや景観	1	2	3	4	5
(キ) 山並みなどの自然の風景	1	2	3	4	5
(ク) 空気や水のきれいさ	1	2	3	4	5
(ケ) 徒歩, 自転車での行動のしやすさ	1	2	3	4	5
(コ) バス, 鉄道など公共交通の便利さ	1	2	3	4	5
(サ) 日常の買物などの便利さ	1	2	3	4	5
(シ) 診療所, 病院など医療施設への便利さ	1	2	3	4	5
(ス) 区役所・支所など公共施設への便利さ	1	2	3	4	5
(セ) 体育館, 文化ホールなどの施設への便利さ	1	2	3	4	5
(ソ) 学校・大学など, 教育環境のよさ	1	2	3	4	5
(タ) 防犯などの用心のよさ	1	2	3	4	5
(チ) 交通事故からの安全性	1	2	3	4	5
(ツ) 火事, 救急などの災害や事故からの安全性	1	2	3	4	5
(テ) 地震, 水害などの自然災害からの安全性	1	2	3	4	5
(ト) 全体として	1	2	3	4	5

**次に、地域コミュニティについておたずねします。**

**問3** あなたは次の(ア)～(カ)の意見について、どのように思いますか。それぞれ当てはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

	1	2	3	4	5
(ア) 隣近所の人との付き合いは大切にしたい	1	2	3	4	5
(イ) 隣近所の人と困ったときの助け合いや 一人暮らしのお年寄りの世話など積極的 に支えあっていきたい	1	2	3	4	5
(ウ) 町内会(自治会)は一人暮らしのお年寄りの 世話など、今よりも幅広い活動をすべきだ	1	2	3	4	5
(エ) 町内会(自治会)の活動や行事には、 積極的に参加するようにしたい	1	2	3	4	5
(オ) 町内会(自治会)の世話を頼まれたら 引き受けてもよい	1	2	3	4	5
(カ) 町内会(自治会)以外にも目的や必要に 応じて住民が自由に参加できる新しい形の 組織が地域活動を担うことがあってもよい	1	2	3	4	5

**問4** あなたは、お住まいの地域について、親しみや愛着、誇りのようなものを感じていますか。次の(ア)～(オ)の各項目について、それぞれ当てはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

	1	2	3	4	5
(ア) 隣近所	1	2	3	4	5
(イ) 町内会・自治会	1	2	3	4	5
(ウ) 学区・元学区	1	2	3	4	5
(エ) 行政区(北区・南区などお住まいの区)	1	2	3	4	5
(オ) 京都市	1	2	3	4	5

**問5** 次の地域活動について、あなたはどのように感じておられますか。次の(ア)～(オ)の各項目について、それぞれ当てはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

	1	2	3	4	5
(ア) 防災、防火活動 (防災、消防訓練等)	1	2	3	4	5
(イ) 防犯活動 (夜間パトロール、登下校時の子どもの見守り等)	1	2	3	4	5
(ウ) 清掃活動 (ごみ出しのルール形成・遵守、公園や河川の清掃等)	1	2	3	4	5
(エ) 伝統行事・レクリエーション活動 (運動会、夏祭り、地蔵盆等)	1	2	3	4	5
(オ) 高齢者福祉活動 (敬老の集い、訪問活動、安否確認等)	1	2	3	4	5

**次に、就労に対する考え方についておたずねします。**

**問6** あなたが、働く目的は何ですか。次の項目の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選び番号に○印をつけてください。

- 1 お金を得るために働く
- 2 社会の一員として、務めを果たすために働く
- 3 自分の才能や能力を発揮するために働く
- 4 生きがいを見つけるために働く
- 5 わからない

**問7** 社会には、様々な仕事がありますが、あなたにとってどのような仕事が理想的だと思いますか。次の項目の中から、2つ以内で選び番号に○印をつけてください。

- 1 収入が安定している仕事
- 2 失業の心配がない仕事
- 3 自分の専門知識や能力がいかせる仕事
- 4 世の中のためになる仕事
- 5 高い収入が得られる仕事
- 6 自分にとって楽しい仕事
- 7 健康を損なう心配がない仕事
- 8 仕事と家庭生活の両立ができる仕事
- 9 その他( )
- 10 わからない

**問8** 若年層で高い失業率が推移するなか、若者の就業促進について、京都市はどのような施策に重点的に取り組むべきだと思いますか。次の項目の中から、**あなたが重要だと思うものを2つ以内で選び番号**に○印をつけてください。

- 1 職業観・職業意識を形成するための教育
- 2 企業への雇用のPR
- 3 情報収集・提供
- 4 職業体験事業
- 5 若者同士の交流の支援
- 6 企業誘致による雇用機会の確保
- 7 その他( )
- 8 特に何もする必要はない

**次に、京都の持つ都市の魅力やイメージについておたずねします。**

**問9** 現在の京都で生活する場合、あなたは、次の(ア)～(チ)のようなことについて、京都が魅力あるまちだと思いますか。それぞれ当てはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

	魅力がある	どちらともいえない	魅力がない
(ア) 住む	1	2	3
(イ) 働く	1	2	3
(ウ) 商売をする	1	2	3
(エ) 学ぶ	1	2	3
(オ) 育てる	1	2	3
(カ) 買物をする	1	2	3
(キ) 遊ぶ	1	2	3
(ク) 散策する	1	2	3
(ケ) 食べる, 飲む	1	2	3
(コ) おしゃれをする	1	2	3
(サ) 心身を癒す	1	2	3
(シ) くつろぐ	1	2	3
(ス) 出会う	1	2	3
(セ) 語らう	1	2	3
(ソ) 創る	1	2	3
(タ) 安全に暮らす	1	2	3
(チ) 全体として	1	2	3

**問10** 「現在の京都」に関する次の(ア)～(チ)のイメージについて、あなたはどのように思われますか。それぞれ当てはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

	そう思う	どちらともいえない	そう思わない
(ア) 町並みの美しい都市	1	2	3
(イ) 山紫水明の都市	1	2	3
(ウ) 日本人の心のふるさとの都市	1	2	3
(エ) 神社, 仏閣などが多く歴史環境の豊かな都市	1	2	3
(オ) 大都市として様々なサービスが受けられる都市	1	2	3
(カ) 国際性豊かな多文化が息づく都市	1	2	3
(キ) 人権を大切にする都市	1	2	3
(ク) 安心して暮らせる都市	1	2	3
(ケ) 子育て・教育を大切にする都市	1	2	3
(コ) 大学のまち, 学術研究の盛んな都市	1	2	3
(サ) 芸術性, 文化性豊かな都市	1	2	3
(シ) 西陣織, 清水焼など伝統産業の都市	1	2	3
(ス) 電子機器, 精密機器など先端産業の都市	1	2	3
(セ) 国内外から多くの人を訪れる観光都市	1	2	3
(ソ) 環境問題の解決に積極的に貢献する都市	1	2	3
(タ) 経済力, 活力あふれる都市	1	2	3
(チ) 職住が近接した都市	1	2	3

**問 11** 「将来の京都」について、あなたが特にこうあってほしいと思われるイメージはどれですか。次のイメージの中から、あなたのお考えに近いものを3つ以内で選び番号に○印をつけてください。

- 1 町並みの美しい都市
- 2 山紫水明の都市
- 3 日本人の心のふるさとの都市
- 4 神社、仏閣などが多く歴史環境の豊かな都市
- 5 大都市として様々なサービスが受けられる都市
- 6 国際性豊かな多文化が息づく都市
- 7 人権を大切にする都市
- 8 安心して暮らせる都市
- 9 子育て・教育を大切にする都市
- 10 大学のまち、学術研究の盛んな都市
- 11 芸術性、文化性豊かな都市
- 12 西陣織、清水焼など伝統産業の都市
- 13 電子機器、精密機器など先端産業の都市
- 14 国内外から多くの人を訪れる観光都市
- 15 環境問題の解決に積極的に貢献する都市
- 16 経済力、活力あふれる都市
- 17 職住が近接した都市
- 18 その他( )

**次に、京都市が今後力を入れるべき施策についておたずねします。**

**問 12** 現在、京都市では、行政の縦割りを排した各政策分野の「融合」と、市民と行政の「きょうかん(共汗・共感)」を市政運営の基本としています。あなたは、本市が今後、どのような分野の施策に力を入れていくべきだと思いますか。次の項目の中から、あなたが特に重要だと思われるものを5つ以内で選び番号に○印をつけてください。

- 1 安全・消防・防災
- 2 人権・平和
- 3 健康・保健医療
- 4 高齢者福祉
- 5 障害者福祉
- 6 男女共同参画社会づくり
- 7 地域コミュニティ活性化
- 8 ボランティア活動支援
- 9 子育て支援
- 10 学校教育
- 11 生涯学習
- 12 大学・学術研究
- 13 文化・芸術
- 14 スポーツ
- 15 国際交流・多文化共生
- 16 ものづくり産業
- 17 観光・コンベンション
- 18 商業・商店街
- 19 農林業
- 20 **雇用創出**
- 21 住宅・住環境
- 22 公園・緑地
- 23 都市整備・再開発
- 24 交通・道路
- 25 情報・通信
- 26 町並み・景観
- 27 環境保全・自然保護
- 28 まちの美化・ごみ処理・リサイクル
- 29 行財政改革
- 30 青少年育成
- 31 水道・下水道
- 32 その他( )

**副問** 上で選んだ分野について、取組の進み具合を測る「ものさし(指標)」として、ふさわしいとお考えのものがあれば、ご記入下さい(1つで結構です)。

番	ものさし:
---	-------

(例 31 番 ものさし:各世帯への上水道の普及率)

**次に、京都市の市政改革についておたずねします。**

**問 13** 京都市では、危機的な財政状況の下で、現在、新たな市政改革に取り組もうとしています。次の項目の中から、市政改革を進めるに当たって、**あなたが特に重要だと思われるものを3つ以内で選び番号に○印をつけてください。**

- 1 事業を計画する段階で、市民の意見を聴くための機会やしくみを増やすこと
- 2 市民が公共施設などの管理・運営に参加できるしくみを増やすこと
- 3 市政に関する情報の公開に努めるなど市政の透明化を図ること
- 4 財政状況に応じて既存の事業の見直しを図ること
- 5 市職員の数を見直すなど行政組織のスリム化を図ること
- 6 民間委託や民営化など民間活力の導入により、市が行う業務の簡素化を図ること
- 7 職員の意識改革や政策立案能力の向上により、市役所の活性化を図ること
- 8 身近な要望にできるだけ対応できるように、区役所機能の充実に努めること
- 9 その他( )

**次に、京都市のまちづくりの課題についておたずねします。**

**問 14** 今後の京都市のまちづくりを進めるに当たっては、様々な課題があると考えられますが、次の(ア)～(カ)の各課題について、あなたはどのようにお考えになりますか。それぞれの項目の中からあなたのお考えに近いと思われるものをお選びください。

(ア) 今後、日本の総人口は減少していくと言われていますが、京都市でも、現在の少子化などの傾向が続くと仮定すると、人口が減少すると推測されます。京都市の人口について、あなたはどのようにお考えになりますか。**あなたのお考えに近いものを1つ選び番号に○印をつけてください。**

- 1 人口については、現在より増加を図るべきだ。
- 2 人口については、現状程度を維持することに努めるべきだ
- 3 人口については、減少しても止むを得ないが、減少幅を最小限に抑えるべきだ
- 4 人口については、減少してもかまわない

(イ) 交通問題(渋滞や環境に及ぼす影響など)の解決のため、京都市では、地下鉄や道路網を含めた総合的な交通体系の整備に努めていますが、自家用車の利用について、あなたはどのようにお考えですか。**あなたのお考えに近いものを1つ選び番号に○印をつけてください。**

- 1 自家用車の利用については、個人の自由だ
- 2 自家用車の利用については、市民一人ひとりが自主的に控えるべきだ
- 3 自家用車の利用については、何らかの制限を導入することもやむを得ない

(ウ) 京都市では、北部は「保全」、都心部は、「再生」、南部は「創造」をキーワードにまちづくりを進めています\*。今後のまちづくりの方向性について、あなたはどのようなお考えですか。あなたのお考えに近いものを1つ選び番号に○印をつけてください。

- 1 北部地域の保全を更に進めるべき
- 2 都心部の再生、賑わいを更に進めるべき
- 3 南部地域の創造、都市活性化を更に進めるべき

**副問** 地域別では、どのようなまちづくりの方向性を目指すべきとお考えですか。あなたのお考えに近いものを1つ選び番号に○印をつけてください。

	保全を進めるべき	再生を進めるべき	創造を進めるべき
北区	1	2	3
上京区	1	2	3
左京区	1	2	3
中京区	1	2	3
東山区	1	2	3
山科区	1	2	3
下京区	1	2	3
南区	1	2	3
右京区	1	2	3
西京区	1	2	3
伏見区	1	2	3

\*「保全・再生・創造」とは？（「京都市基本構想」では次のように述べています）

- ・永い歴史に支えられた自然的風土である三方の山々、文化財や史跡の点在する山麓部、そしてゆとりと景観に恵まれた住宅地の一部は、自然と歴史的な景観の**保全**に努める。
- ・伝統的な町家や町並みが数多く維持され、商業・業務機能が集積し、職・住・文・遊が織り重なる歴史豊かな市街地は、調和を基調とする都心の**再生**に努める。
- ・そして南部は、高度集積地区を中心に、21世紀の京都の新たな活力を担う**創造**のまちづくりに努める。

(エ) CO2(二酸化炭素)の増加などによる地球温暖化をはじめとして、地球的規模の環境問題は、いまや私たち自身にとって深刻な状況にあるといえます。これまで私たちは大量に消費して大量に廃棄するという生活を送ってきましたが、今後は一人ひとりが自家用車の使用や物品の消費など自らの生活習慣を見直す必要があると考えられます。このことについて、あなたはどのようにお考えになりますか。あなたのお考えに近いものを1つ選び番号に○印をつけてください。

- 1 地球環境を守るためには、積極的に省エネルギー・省資源の方向に生活習慣を変えていかなければならないと思う
- 2 地球環境を守るためには、生活が多少不便になることもやむを得ない
- 3 地球環境を守るためには、行政や事業者が積極的に取り組むべきで、個人の生活習慣まで変える必要はない

(オ) 行政サービスに対する市民の皆さんのご要望は、福祉、教育をはじめ、保健医療、住宅、文化、スポーツ、都市基盤整備など幅広い分野にわたり、ますます多様化するとともに高度化しており、これらにお応えしていくために京都市では行財政の効率化に努めていますが、そのうえで市民の皆さんの経済的負担を一定増やす必要に迫られることも考えられます。このことについて、あなたはどのようにお考えになりますか。あなたのお考えに近いものを1つ選び番号に○印をつけてください。

- 1 行政サービスを充実するためには、市民の経済的負担が増えることがあってもやむを得ない
- 2 市民の経済的負担を増やしてまで行政サービスを充実する必要はない
- 3 いちがいにはいけない

(カ) 情報通信技術が、急速に進展し続ける中、京都市においても「京都市情報館」による市政情報の発信、市政情報総合案内コールセンターの開設や電子申請をはじめとする電子窓口サービスの提供など、より利便性の高い「電子市役所」の推進に取り組んでいます。このことについて、あなたはどの程度まで「電子市役所」が進むことを望みますか。当てはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

- 1 市が保有する行政情報や統計等がほぼすべてインターネットで閲覧できる
- 2 インターネットから市への届出、申請、申込等必要な行政手続を行うことができる
- 3 電子モニター(登録制のアンケート調査)など、インターネットを通じて市政に関する意見、要望等を行うことができる
- 4 地域コミュニティの活性化や地域の課題解決のため、インターネット上において、市民同士で自由に情報交換や交流等ができる

**次に、市政への市民参加についておたずねします。**

**問 15** あなたは、京都市政に関心がありますか。次の項目の中から、当てはまるものを1つ選び番号に○印をつけてください。

- 1 関心がある
- 2 少しは関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 まったく関心がない
- 5 わからない

**問 16** 京都市では、計画づくりやまちづくりに市民の皆さんの積極的な参加機会を確保するとともに、市民と行政が共に汗をかくまちづくりを推進しています。あなたは、市政への参加について、どうお考えですか。次の項目の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選び番号に○印をつけてください。

- 1 積極的に参加したい
- 2 できれば参加したい
- 3 参加したいとは思わない

**副問** 問 18 で市政への参加について「1 積極的に参加したい」又は「2 できれば参加したい」とお答えの方のみにおたずねします。あなたは、まちづくりや地域の身近な課題に関して、ご自身の持つ知識や経験をどのような分野に生かすことができるとお考えですか。次の項目の中から、当てはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

- 1 人権・平和
- 2 地域の防犯・防災活動
- 3 スポーツ・文化・レクリエーション活動
- 4 学校教育・生涯学習
- 5 子育て支援
- 6 健康づくり
- 7 自然保護・環境保全
- 8 地域産業の振興
- 9 公園や施設の管理・運営
- 10 国際交流・多文化共生
- 11 高齢者や障害者の福祉
- 12 その他( )
- 13 特になし

**問 17** 市民と行政との協働のまちづくりをより活発にしていくために、あなたはどのような取組・手法が有効だと思いますか。次の項目の中から、当てはまるものをすべて選び番号に○印をつけてください。

- 1 審議会委員などの市民一般公募の枠(人数)を増やす
- 2 市民が主体的に取り組むまちづくり活動を積極的に支援する
- 3 まちづくり活動に取り組む団体相互の情報交換や交流を促進する
- 4 ワークショップなど市民が参加・議論しやすい手法を採用する
- 5 まちづくりに関する情報や取組を積極的に公表する
- 6 パブリックコメント(意見公募手続)を積極的に行う
- 7 まちづくり活動の拠点となる施設を整備する
- 8 タウンミーティングで市民と行政とが直接意見交換を積極的に行う
- 9 その他( )



